



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年12月21日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 兼 CEO (氏名) 杉原 博茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 兼 CFO (氏名) 野坂 茂 TEL 03-6834-6666
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の業績（平成28年6月1日～平成28年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	80,595	3.6	23,902	5.9	23,840	5.2	16,543	9.4
28年5月期第2四半期	77,792	△0.5	22,577	△0.5	22,669	△0.7	15,127	2.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	129.72	129.45
28年5月期第2四半期	118.86	118.66

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	164,246	86,242	52.1	670.95
28年5月期	223,402	136,227	60.6	1,062.14

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 85,604百万円 28年5月期 135,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	525.00	525.00
29年5月期	—	0.00			
29年5月期（予想）			—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 次期の配当金は未定です。
 3. 平成28年5月期の配当金は普通配当105円、特別配当420円、合計525円です。

3. 平成29年5月期の業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	1株当たり 当期純利益
	%	円 銭
通期	1.0 ～4.0	274.00 ～284.00

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年5月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。
 3. 予想実効税率は31.1%です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期2Q	127,602,171株	28年5月期	127,511,971株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	16,472株	28年5月期	46,521株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期2Q	127,526,314株	28年5月期2Q	127,272,690株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P4.「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概要

当第2四半期累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日。以下、「当四半期」)においては、日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費は底堅く推移し、緩やかな改善基調にありましたが、海外経済の減速や、英国のEU離脱の決定以降の為替、金利等金融市場の変動や米国の政権移行に伴い、経済活動の先行き不透明感が増しております。

また社会面では、少子高齢化に伴う労働人口の減少、地域格差、グローバル化が進んでおり、これらの課題に対し、デジタル技術を活用し、社会・コミュニティ・企業・ひとりひとりの生産性の向上を図り、問題解決に取り組んでいくことが重要となっております。

このような事業環境のもと、平成29年5月期は当社にとって「VISION2020:2020年までにNo.1クラウドカンパニーになる」ための3年目にあたり、クラウド事業を加速度的に成長させるための基礎固めの最後の1年と位置付けております。また当社では「Digital Aid(デジタルエイド) by POCO(The Power of Cloud by Oracle)」をキーワードに、「SaaS/PaaS/IaaS 事業の拡大」、「エンタープライズ営業の強化」、「システム事業の拡大」、「地域ビジネス成長への貢献」を経営方針として事業を推進してまいりました。

以上の結果、当四半期の経営成績につきましては、売上高80,595百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益23,902百万円(前年同期比5.9%増)、経常利益23,840百万円(前年同期比5.2%増)、四半期純利益16,543百万円(前年同期比9.4%増)となり、第2四半期としては、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、過去最高を記録しました。

(注1) SaaS (Software as a Service) : 財務会計や給与・人事管理などのソフトウェアの必要な機能を必要な分だけ、インターネットを経由して提供するサービス。

(注2) PaaS (Platform as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤となるデータベース管理ソフトウェアや、異なるソフトウェア間を円滑に連携させる中間層のソフトウェアを、インターネットを経由して提供するサービス。

(注3) IaaS (Infrastructure as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤(サーバーマシンやストレージなどのハードウェアやネットワークなど)そのものを、インターネットを経由して提供するサービス。

② 報告セグメント別の状況

【新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)】

売上高は22,028百万円(前年同期比2.0%増)となりました。内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は18,094百万円(前年同期比8.1%減)、クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)の売上高は3,934百万円(前年同期比108.0%増)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、これらのソフトウェアやハードウェアのリソースを、インターネットを通じてサービス提供する「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」から構成されます。

＜クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)＞

・営業・マーケティング

これまでも自社クラウドソリューションを活用し、購入プロセスの迅速化など営業力の強化に取り組んでまいりましたが、中堅・中小市場でのクラウド販売をより強化するための営業組織「Oracle Digital」を発足しました。ソーシャル・メディア、オンラインデモンストレーション、TV会議など最新のデジタルツールを活用し、お客様のクラウド体験を促進することで、当社のクラウド展開を加速する営業改革を進めております。

また、マーケティング活動では、当社のクラウドソリューションおよび、IoT(Internet of Things)、ビッグデータなど最新トレンドをユーザー事例とともにご紹介する「Oracle CloudDays」を、東京、福岡、名古屋、大阪、札幌で開催しました。

・製品サービス

SaaSでは、競争力強化を目的としたグローバルの間接購買や統合会計についての需要が増加しております。当社の強みであるグローバルでのプロセス統合ノウハウを活用した提案活動を推進した結果、ERP・EPMクラウドが伸びました。

PaaS/IaaSでは、当社のクラウド環境をお客様のデータセンター内に設置し、お客様のデータセンター内からオラクルのパブリックIaaSおよびPaaSを提供する「Oracle Cloud at Customer」への需要が高まっております。

平成28年10月には株式会社NTTデータ様、NTTデータ先端技術株式会社様と「Oracle Cloud at Customer」を活用したハイブリッドクラウド分野での3社協業を発表いたしました。NTTデータグループ内の統合開発環境に組み込むことで開発スピード、コスト生産性を高め、既存の基幹システムとモバイル、IoT (Internet of Things)、ビッグデータとのハイブリッド連携により、新たなビジネス価値の創造を支援してまいります。

また、平成28年7月に発表いたしました富士通株式会社様との戦略的提携については、現在サービス開始に向け鋭意準備を進めている段階です。

今後もクラウド関連製品・サービスの拡充、パートナーアライアンスを強化し、新規ユーザーの獲得を強力に推進してまいります。

＜新規ライセンス＞

前年同期の大型案件の反動減の影響がありましたが、より高度なセキュリティと高速処理が求められるパートナー企業様のクラウドサービス基盤として、当社のエンジニアド・システムである「Oracle Exadata」やセキュリティ製品群をご採用いただきました。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は40,794百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）、かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様へのサポートの価値訴求や、特にパートナー企業様との協業を推進した結果、新規のサポート契約率、既存のサポート契約の適時更新率がさらに改善しており、堅調に推移いたしました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は8,469百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

内訳につきましては、ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は3,424百万円（前年同期比19.3%減）、ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は5,044百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトにおいて、前年同期の大型案件の反動減の影響がありました。

[サービス]

売上高は9,302百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティング・サービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーション・サービス」から構成されております。

コンサルティング・サービスにおいて、プロジェクト案件が順調に進捗したほか、アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。

<報告セグメント別売上高の状況>

区分	平成28年5月期 第2四半期		平成29年5月期 第2四半期			平成28年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	19,696	25.3	18,094	22.5	△8.1	47,334	27.8
クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	1,891	2.4	3,934	4.9	108.0	4,594	2.7
新規ライセンスおよび クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	21,587	27.7	22,028	27.3	2.0	51,929	30.5
アップデート&プロダクト・サポート	38,401	49.4	40,794	50.6	6.2	78,170	45.9
ソフトウェアおよびクラウド	59,988	77.1	62,823	77.9	4.7	130,099	76.4
ハードウェア・システムズ・プロダクト	4,241	5.5	3,424	4.2	△19.3	11,930	7.0
ハードウェア・システムズ・サポート	5,157	6.6	5,044	6.3	△2.2	10,317	6.1
ハードウェア・システムズ	9,399	12.1	8,469	10.5	△9.9	22,247	13.1
サービス	8,404	10.8	9,302	11.5	10.7	17,856	10.5
合計	77,792	100.0	80,595	100.0	3.6	170,203	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は164,246百万円(前事業年度末比59,155百万円減)となりました。流動資産は123,368百万円(前事業年度末比60,150百万円減)となりました。

負債は78,004百万円(前事業年度末比9,170百万円減)、純資産は86,242百万円(前事業年度末比49,984百万円減)となりました。この結果、自己資本比率は52.1%(前事業年度末比8.5ポイントダウン)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月28日に発表いたしました平成29年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,644	104,099
売掛金	19,674	14,453
短期貸付金	100,000	—
その他	4,202	4,818
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	183,519	123,368
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,724	11,733
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,303	2,273
有形固定資産合計	39,085	40,064
無形固定資産	5	3
投資その他の資産		
その他	796	809
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	791	809
固定資産合計	39,883	40,877
資産合計	223,402	164,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,514	8,653
未払金	5,832	4,772
未払法人税等	9,195	7,946
前受金	56,527	53,522
賞与引当金	2,001	1,155
その他の引当金	477	265
その他	2,616	1,681
流動負債合計	87,166	77,996
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	87,174	78,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,209	23,445
資本剰余金	6,560	6,795
利益剰余金	105,836	55,441
自己株式	△221	△77
株主資本合計	135,386	85,604
新株予約権	841	638
純資産合計	136,227	86,242
負債純資産合計	223,402	164,246

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	77,792	80,595
売上原価	39,340	40,767
売上総利益	38,451	39,827
販売費及び一般管理費	15,874	15,925
営業利益	22,577	23,902
営業外収益		
受取利息	38	7
為替差益	48	—
その他	8	8
営業外収益合計	94	15
営業外費用		
為替差損	—	76
その他	2	0
営業外費用合計	2	76
経常利益	22,669	23,840
特別利益		
新株予約権戻入益	21	165
特別利益合計	21	165
税引前四半期純利益	22,691	24,005
法人税等	7,563	7,462
四半期純利益	15,127	16,543

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	22,691	24,005
減価償却費	603	635
株式報酬費用	51	41
賞与引当金の増減額(△は減少)	△288	△846
その他の引当金の増減額(△は減少)	△63	△211
受取利息及び受取配当金	△40	△8
固定資産除売却損益(△は益)	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	3,833	5,220
その他の流動資産の増減額(△は増加)	165	△619
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,473	△1,861
未払金の増減額(△は減少)	△791	△1,081
前受金の増減額(△は減少)	332	△3,005
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,191	△791
その他	33	△39
小計	20,864	21,438
利息及び配当金の受取額	42	12
利息の支払額	—	—
法人税等の支払額	△9,300	△8,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,606	12,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△1,631
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	—	100,000
定期預金の預入による支出	△90,000	△14,000
定期預金の払戻による収入	75,000	14,000
差入保証金の差入による支出	—	△1
差入保証金の回収による収入	0	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,189	98,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	198	391
自己株式の取得による支出	△2	△3
配当金の支払額	△12,091	△66,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,896	△66,510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,478	44,455
現金及び現金同等物の期首残高	82,194	45,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,716	90,099

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年7月22日開催の取締役会において決議されていた期末配当(1株当たり525円、うち普通配当105円、特別配当420円)を平成28年8月8日に支払った結果、利益剰余金が66,938百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/P aaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,587	38,401	9,399	8,404	77,792	—	77,792
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,587	38,401	9,399	8,404	77,792	—	77,792
セグメント利益	1,904	20,378	477	2,006	24,767	△2,190	22,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,190百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/P aaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,028	40,794	8,469	9,302	80,595	—	80,595
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,028	40,794	8,469	9,302	80,595	—	80,595
セグメント利益	1,583	21,713	402	2,379	26,078	△2,176	23,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,176百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。